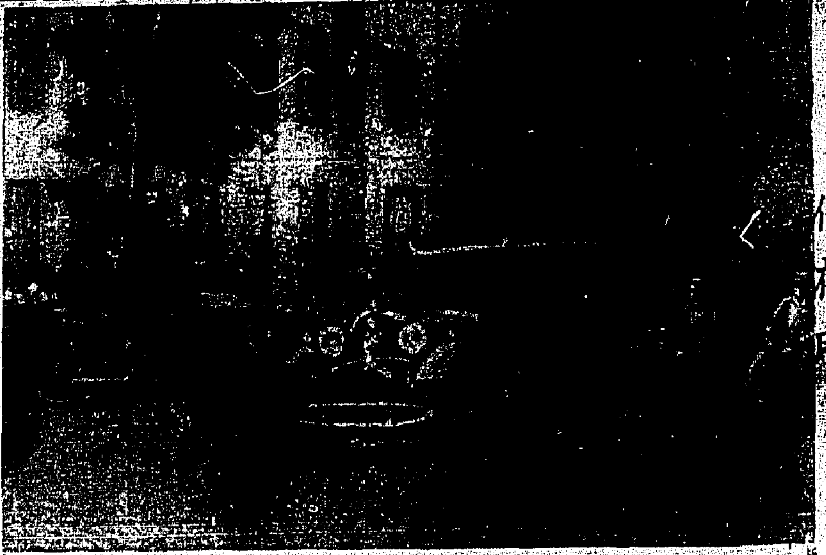
京城日報



卒業式に親臨
きのふ大陸へ行幸
大本營陸軍部にも御立寄り

御寫眞＝陸軍大學校より還幸

中原中將・功二級
殊勳甲百廿一柱
鹽澤大將等にも恩賞

海軍行賞

海軍省公表

殊勳甲

功二 旭一 中將 中原義正

山田全權大使 信任狀捧呈

社説

皇民は先づ國語から

徴用への氣魄

延三百機來襲
マノクワリに
バンダ海方面に敵執拗

敵飛行場爆碎

北部印ソ國境附近

ミートキーナで五機撃墜

トラック島に大型廿五機

海南島に卅五機
四機撃墜、數機を撃破

翼政會後任總裁に
小林躋造大將有力
銓衡委員を設け推擧

衡陽の戰闘苛烈

ビルマ獨立一周年　けふから三日間記念行事

トルコ首相けふ重大聲明

情勢緊迫す

受動交戰狀態

米、非金屬製地雷大量生産

回印兩教に和解機運

獨大使重大會見

東部戰線

西岸の橋頭堡排除
獨軍、ビスツラ河猛攻

コブノ地區

赤軍大攻勢

第二一般殊勳者

功三旭一 中將 谷本馬太郎

…その他

イタリヤ戰線

エンポリ確保

北佛戰線

クータンス南方へ戰線移動

土酸隊の受動演習

七、八%を値上
鮮産石鹸
山皮鹸除き配給統制

血戰録

増血栄養 マスチゲン錠

謹告

今般弊會と朝鮮教育出版株式會社と改稱仕候間此段及謹告候也

昭和十九年八月

京城府中區太平通二丁目四三番地

舊名 朝鮮公民教育會

新社名 朝鮮教育出版株式會社

社長 大谷〓保

御挨拶

白系封切館昇格

向省の折柄各位益々御清榮之事と拜察申上げます。時局重大決戰の熱意を受持つ當館も各位の御期待に應へて來る八月三日を期して城南地區に於ける唯一の封切館に昇格御披露致す事に相成りました。就きましては從來までの御愛顧に倍して御援助を賜はらん事を切に御願ひ申上げる次第で御座います

八月一日 館主敬白

城南映畫劇場

$C_6H_{11}O_5NH$–SO_2NH_2

最新化學療法劑！

ネオポンシール

みつおち健體器

一億！肚を鍛れ

みづおちの固きは萬病のもと

胃腸や血壓に！！

發明特許

店名及營業課目變更謹告

昭和十九年八月

新店名 森電機工場

新營業課目

舊店名 森花商會

徴兵へ榮光の進發

けふ一周年を迎ふ

神兵今ぞ米鬼撃つ

井原參謀長 心の激勵

井原參謀長

護らん〝譽の家〟

存分に戰つて貰ふ

後は鄕土あげてお世話

大野學務局長談

東久邇宮盛厚王殿下

御目出度く陸大を御卒業

畏し李王殿下

阿部總督、京城へ

軍需木材を出さう

けふから生産確保運動展く

內地在學の半島學生問題懇談會

煉粉乳必ず指定日に

鮮魚を補ふ乾物

水利組織

半島農報青年隊歸路へ

默々やりぬく

軍當局も感謝

記念日に贈る徴兵佳話

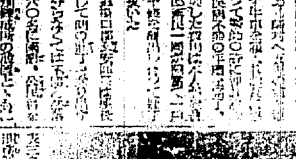
お召だ、私他はない

赤貧の壯丁を護りぬく人々

水産食糧增産運動

血作、風陵渡高地占領・

加納警部へ軍司令官賞



府邑面に銃後奉公會設置

銃後奉公會設置要綱

【事業】

【組織】

【經費】

【運營】

獻翼へ十萬圓

團圓の赤誠

きのふ獻納

作曲料を獻金

海への書【82】

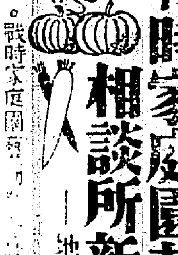
落伍者（五）

放送

そこひ目 白ソコヒ・ホシ目 黒ソコヒ・紅彩炎

のんで治せ家庭治療劑

眼科專門 西脇



敵撃滅ノ神機迫ル

起テ二千六百萬

戰時家庭園藝の相談所新設

—地階—

○戰時家庭園藝に應じます

○種子各種・參考品・農業薬品等の販賣も致します。

○朝鮮タキイ種苗會社員出張

京城 三越

內地行勞務者

一、資格

二、募集人員

三、銓衡

四、待遇

五、其他

三菱大夕張礦業所

京城職業紹介所

湖南紡績株式會社

本社移轉謹告

朝鮮吳羽紡績株式會社

新所在地

設計技術者及製圖手募集

朝鮮煉炭株式會社

生徒募集

京畿道自動車講習所

進學獨學 通信教授

韓基澤

京城府平町三六 番光671

女子事務員 給仕 採用す

朝鮮國民株式會社

大陸劇場　京日文化　永寶劇場　喜樂館

桃花劇場　浪花館　朝日座　中央劇場　城寶　明治座　第一劇場　若草劇　城南劇場　京劇　和信映畫　東洋劇場　光武劇場　新富座